

講義名	卒業研究				
講義コード	14419	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
担当教員	内田 遼介			ナンバリング・コード	SEM440

学部・学科	演習分野
人間社会学部・人間健康学科	スポーツ心理学演習

**概要説明**

研究演習の活動を踏まえて卒業論文を執筆します。この演習では、研究演習の活動を通じて見つけたスポーツ心理学に関連する研究テーマに基づき、各自で質問紙調査や実験室実験を実施してもらいます。そして、収集したデータに基づき、問題提起、目的、方法、結果、考察を伴った学術論文を執筆してもらいます。教員も出来る限りのサポートをしますが、卒業論文を完成させるにあたって最も大切なことは、自ら主体的に行動する力です。ぜひ、学びの集大成として卒業論文を執筆して卒業してください。

**主な卒業論文のタイトル**

- 自己決定場面における課題価値の影響に関する研究 バッティング課題を用いた実験的検討
- 運動部活動の経験とライフスキルの関連性 文化的自己観と学業に対する目的意識の調整効果

**教員よりの要望**

**選考方法**

・演習申込書と面談、過去の成績によって選考します。

**評価方法**

・卒業論文の完成度で成績を評価します。

教員英字氏名	研究室
Ryosuke UCHIDA	研究棟 4階 5408研究室

**最終学歴**

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了

**学位**

博士(人間科学)

**主な研究活動・社会活動・研究業績**

**主な研究活動**

- 運動部活動での被体罰経験が体罰への容認的態度になぜ影響するのか
- 運動部指導者が実際に体罰行使に至る際の心理的プロセスの解明
- 潜在的体罰容認派を見抜く方法の検討

体罰に関する研究は教員自身が個人的に行っている研究であって、皆さんが卒業研究で行う活動とはあまり関係がありません。もちろん、興味・関心があれば一緒に研究をしましょう。スポーツ心理学には、実に多様な研究テーマがあります。メンタルトレーニングには本当に効果があるのか興味がある、どうすれば効果的に運動スキルを習得できるのか興味があるなど、スポーツの心理的側面に関する研究テーマを見つけて一緒に研究をしましょう。

**趣味・特技**

**所属**

なし

**所属学会**

スポーツ心理学会  
 日本社会心理学会  
 日本グループ・ダイナミックス学会  
 日本心理学会  
 日本体育学会  
 Society for Personality and Social Psychology  
 日本生涯スポーツ学会

**専門分野**

スポーツ心理学

**担当科目**

スポーツ心理学  
 スポーツ統計学  
 リーダーシップ論  
 コーチング論  
 教養特講 (人間健康学科へのいざない)  
 運動処方演習B

**備考**

・演習活動の中には参加費が必要なものがあります。

**実務経験の有無及び活用**

なし